



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社トーメンデバイス  
代表者名 代表取締役社長 妻木 一郎  
(コード番号 2737 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR 室長原 英記  
電話番号 03-3536-9150 (代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 4 月 26 日に公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 170,000	百万円 1,800	百万円 1,400	百万円 1,000	円 銭 147.03
今回修正予想 (B)	145,000	1,100	1,400	1,000	147.03
増減額 (B - A)	△25,000	△700	—	—	—
増減率 (%)	△14.7	△38.9	—	—	—
前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	189,372	1,907	1,779	1,177	173.14

#### 2. 修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間においては、急速に進んだ円高の影響により、通期の売上高、営業利益は前回発表予想より減収減益となる見込みです。

当社は、米ドル建ての外貨建取引については、為替予約により為替相場の変動リスクを回避しております。

当社の経理処理では、仕入は入荷時に前月末の為替レートにより計上し、売上高も出荷時に前月末の為替レートで計上しております。従い、仕入より一定期間経過後に売上計上となる場合、円高が進行している際には、売上計上時に認識される営業利益は、仕入計上レートを使用した売上原価をもとに算出されますので減益となります。

一方、当社は、為替予約により為替相場の変動リスクのヘッジを行っているため、営業外収益にて見合いの為替差益が発生することより、経常利益においては、概ね、契約時点で見込んだ利益額が計上されるものです。

なお、今回の業績予想の修正による配当予想の変更はありません。

(当社は「金融商品に関する会計基準」における原則的なヘッジ会計を適用しており、特例としての振当処理は行っておりません。)

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上